

児童虐待防止への取組に関する調査

文教福祉常任委員会

🔍 調査の目的

児童虐待相談件数が全国的に年々増加している現状を喫緊の課題として捉え、本市において重篤な虐待事件を引き起こさないための取組を検討する必要があることから調査項目に決定した。

🔍 調査の期間

令和4年3月～令和5年2月(委員会を13回開催)

🔍 調査の手法

1 現状把握

(1) 市の担当部署から説明を聴きました(4/27)

部署 こども未来部こども家庭課

主な内容

- ①児童虐待防止に係る本市の現状と対応について
- ②児童虐待防止に係る国の体制や法改正について
- ③本市が抱える課題について
- ④本市の今後の取組方針について



(2) 関係者や専門家などを招いて意見を聴きました(6/28・6/30・7/11)

主な内容と参考人

① 児童養護施設からみた児童虐待の現状と予防、関係機関との連携について(6/28)

児童養護施設 福島愛育園園長 長谷川文夫氏

児童養護施設 福島愛育園副園長補佐 遠藤嘉邦氏

② 児童相談所からみた児童虐待の現状と予防、関係機関との連携について(6/30)

福島県中央児童相談所 相談課長 新田修氏

③ 児童虐待の現状、予防、課題について(7/11)

福島大学人文社会学群人間発達文化学類 特任教授 安部郁子氏



2 先進事例調査

(1)他市町村の取り組み状況を調査しました(10/24～10/26)

主な内容と調査先

- ①児童相談所の運営と児童虐待防止関連事業について(石川県金沢市)
- ②子ども見守り情報共有ツールの活用について(東京都杉並区)
- ③西東京ルールと児童虐待防止関連事業について(東京都西東京市)



📎 調査結果の報告

本会議で、委員長が調査の報告を行いました(3/24)

[委員長報告はこちらからご覧ください。](#)



📎 議会からの政策提言

議会からの政策提言として、報告内容を取りまとめ議長から市長へ、提言書を提出しました(3/24)

[提言書はこちらからご覧ください。](#)

提言内容

- ① 児童虐待予防の取組の強化について
- ② 庁内の支援体制と関係機関の連携の取組の強化について
- ③ 児童虐待対応ルールや協定締結などによる家庭支援の迅速化について
- ④ プッシュ型情報発信の強化と虐待原因に合わせたアウトリーチ型支援について

